

# みんなの力で

# 活力ある調和のとれた町づくり

## 四つの基本政策を策定



町長 齊藤 譲

昭和六十二年度は、町民のみなさんのご協力により、町行政は極めて順調に事業の推進が図れ、各般に渡り所期の目的を達成し得たものと確信しております。

本六十三年度は、国内景気も上向きの傾向にあり国家予算、地方財政計画いずれも対前年度比四・八パーセント増、同六・

三パーセント増と過去数年間の厳しい圧縮財政運営からの脱却が読みとれるものとなっております。従って当町もこれらの方向にそいながら、当町のおかれた状況、課題、住民の意向を十分踏まえつつ、二十一世紀を展望した町づくりを目指し、次の四項目を基本とし、一般会計二十五億六千七百万円、前年度比二十一・四パーセント増の大型予算を編成したところであります。

昭和六十三年度もすでに執行段階に入っていますが、今後更に限られた財源の効率的運用を図り行政水準の向上に努力してまいります。

### 活力ある産業の基盤づくり

本政策の中心施策は、篠本用地の開発と幹線道路網の整備です。(篠本町有地利用計画図添付)

篠本用地については、六十三年度からいよいよ造成に着手し、約半分の五・七ヘクタールを運動公園に、残り五・四ヘクタールを工場誘致に向けて工場用地として同時開発をするため、最重点施策とし財源を配し、一日も早く雇用の場の確保、産業の活性化を進めるところです。

度で予定どおり完成する他、自転車歩行者道、道路舗装工事等に積極的に財源を配し、日常生活及び産業活動の基盤づくりを進めるものです。

道路網の整備については、国道と鉄道を横断する農免道路(母子・桑郷間)と海岸道路は本年

農業振興策については、新たに新農業構造改善事業を導入し、入ライスセンターの建設、農協とタイアップしての堆肥センター設立、水田農業確立対策に関連した転換水田整備、客土、排水整備等に対する補助制度の拡充強化を図り、生産基盤の整備を図るものです。

### 教育の充実と人材養成

教育の振興については、町政の根幹政策とし積極的な施策が展開され、特に施設整備については、大幅な改善が進んでおりますが、ひき続き光中体育館の全面改修、小学校駐車場整備と併せて教育内容充実のためのソフットの経費とし光中生徒指導研究経費、教職員研修経費等、き

め細かい予算を配し、教育現場の活発な活動を期待するものです。

将来の地域、町づくりに最も必要なのは優秀な人材の確保です。教育内容の充実を図ると共に未来を担う青少年の養成対策として町単独で海外派遣制度を発足させたところであります。

### 住民参加によるふる里づくり



町づくりを進める原動力は住民であります。今進めているふる里まつり・産業文化祭、婦人フォーラム、各種スポーツ大会等は、住民参加の第一歩であります。この中から更に地域や町の将来をつくりだす英知を結集していくと共に、対話行政を形式的なものから実質的なものへと発展させつつ、住民の参加意識の高揚に努めていきます。